

# 令和5年度 世界アルツハイマーデー&月間 取組事例報告シート

(あて先) 日本図書館協会 認知症バリアフリー図書館特別検討チーム  
メールアドレス: djla@jla.or.jp

自治体名	都道府県	静岡県			市区町村	静岡市						
図書館名	静岡市立南部図書館											
連携先 該当に○→	<input type="radio"/>	庁内他部署 (右記に連携先名を記入)			地域包括ケア・誰もが活躍推進本部							
	<input type="radio"/>	その他 (右記に連携先名を記入)			駿河福祉事務所高齢介護課 大里高松地域包括支援センター							
取組	展示				配布物			その他				
	資料	パネル	POP(本の紹介文)	その他	チラシ・パンフレット	ブックリスト・パスファインダー	その他	市民向け講座	映画会	職員向け研修	新聞等のメディア取材	その他
該当に○→ (ドロップダウン)	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

## 内容

静岡市立南部図書館では、今年度「認知症にやさしい図書館事業」を実施しましたので、報告します。

静岡市立南部図書館は、地域福祉共生センター「みなくる」、市社会福祉協議会との複合施設となっており、地域福祉の推進発信の施設となっています。また、近隣に高齢者施設が新設されたことに伴う高齢者や介護関係者の利用、問い合わせ増に伴い、「認知症にやさしい図書館」をめざし、下記事業を行いました。

### 1 職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催

日時: 令和5年6月21日(水) 10:00~11:30、場所: 南部図書館内おはなしコーナー

大里高松地域包括支援センターのキャラバン・メイトの方を講師にむかえ、職員全員(清掃員含め計33人+他市立図書館職員3名の計36名)が受講。全員が認知症サポーターとなりました。



※写真(展示内容等)は、こちらに貼付けてください。

チラシ等の作成物は3ページ目に貼付け欄があります。

### 2 「世界アルツハイマー月間」の資料展示(R5.8.24~R5.9.26)



- ・図書館所蔵資料
- ・市発行の介護保険案内パンフレット
- ・市発行「みんなの認知症予防」パンフレット
- ・地域包括支援センター案内
- ・静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」の案内パンフレット等を配架、展示しました。

期間中の来館者数: 29,022人

※添付資料貼付欄（チラシ・作成物などで、世界アルツハイマー月間に関するもの。）

### 3 認知症にやさしい図書館の「オレンジの棚」新設

令和5年10月16日（月）～、医療系書架の近くに棚を新設しました。（関連図書約100冊、関係資料を常設）



### 4 「図書館だより11月号」で関連事業を紹介

静岡市立図書館報「図書館だより11月号」表紙に、南部図書館の認知症に関する取り組みを紹介しました。



←「図書館だより11月号」表紙

詳しくは  
<https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/>

#### 南部図書館の「りんごの棚」と「オレンジの棚」

##### ◆ 「読書バリアフリー法」と「りんごの棚」

「読書バリアフリー法」についてご存じでしょうか？ 障害の有無にかかわらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律で、令和元年6月に施行されました。南部図書館では、子どもからお年寄りまでだれもが利用できる図書館をめざして、昨年、子ども向けのバリアフリーな本を集めた「りんごの棚」を新設しました。点字のついた絵本や大きな活字の読み物、LLブックなど、スウェーデン発祥のこの棚は、子どもだけでなく多くの方に利用され、静岡市立図書館で広がりを見せています。



南部図書館  
「りんごの棚」より

##### ◆ 「認知症にやさしい図書館」をめざして

静岡市統計によると、2025年には人口の約20%が75歳となり、認知症の方の割合も増加しています。南部図書館では、認知症にやさしいバリアフリーな図書館をめざし、まず今年6月、職員全員で「認知症サポーター養成講座」を受講しました。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る応援者、「認知症サポーター」となりました。

##### ◆ 認知症のシンボルカラーはなぜ「オレンジ色」？

サポーターになると、オレンジ色のカードが渡されます。諸説ありますが、江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門が、夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵磁器が世界的な名声を誇ったことから、「認知症サポーターキャラバン」が世界中で認められるようにとの願いが込められました。また温かさを感じさせるこの色は、「手助けします」という意味を持つと言われていて、そして、「認知症サポーターキャラバン」マスコットキャラクターの「ロボ隊長」には、「ロボのように急がず一歩一歩進んでいこう」という意味が込められています。



認知症サポーターキャラバン  
マスコット「ロボ隊長」

##### ◆ 認知症関連資料を集めた「オレンジの棚」新設へ

9月に「世界アルツハイマー月間」に関する展示を行った翌10月、認知症に関する図書約100冊を集めた「オレンジの棚」を新設しました。この棚には、認知症の病気に関する図書だけでなく、サポート方法、当事者の体験談、予防、介護保険に関する図書もあります。また、地域包括支援センター、市介護保険課発行のパンフレット、チラシ等もそろえています。「オレンジの棚」は医療系の図書の近くにあり、どなたでも、ぜひご利用ください。

静岡市立図書館の情報はこちらから



Webサイト



X (旧Twitter)